

郡上の夜（や）踊り

松下 幹生

山と溪流（ながれ）の 城下町
奥美濃の 小京都
郡上の夜を 華やかに
お盆の間 4日3晩を 踊り暮れ
浴衣姿に 檜の下駄で
賑やかに 密（ひそ）やかに
あなたと絆 深めたい

天空の城 八幡城
朝霧に 浮かぶ様（さま）
郡上の郷を 美下ろして
昼夜を通す 踊りを眺め 歓喜する
転木磨歌（するまうた）より 変わらぬ状態（かたち）
賑やかに 密やかに
江戸より続く 踊り唄

一晩通し 夜（や）踊りで
すり減った 檜下駄
雨も降らぬに 袖しぼる
寒水の中 幟（のぼり）を流す 寒ざらし
洗うあなたを そっと眺めて
密やかに 秘めやかに
心に詰めて 街を出る